

技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	安全・防災 維持管理 環境 コスト ICT <b>品質</b> <small>（該当する分類に○を付けてください）</small>		
技術名称	橋梁床版	担当部署	(株)熊谷組九州支店 土木部
NETIS登録番号		担当者	西尾 正隆
社名等	株式会社熊谷組、オリエンタル白石株式会社、株式会社ガイアート、ジオスター株式会社	電話番号	092-721-0215
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>老朽化した橋梁床版の架け替えに時間を要すると、利用者の利便性等の社会的影響が少なくないため、コッター継手を用いることで急速施工が可能となり、工事による社会的影響が少なく、利用者の利便性を出来る限り損なわない工法として開発を進めております。  <small>（本技術は、株式会社熊谷組、オリエンタル白石株式会社、株式会社ガイアート、ジオスター株式会社との共同開発です。）</small></p> <p>2. 技術の内容</p> <p>コッター式継手は、プレキャスト部材（標準幅11m、長さ2.5m、155kN）を用いることで、従来の鉄筋工・型枠工は必要なく、くさび状のH型金物を床版に埋設されているC型金物に挿入し、固定用ボルトを必要なトルクで締めこむことで十分な接合強度を確保できます。（別図参照）</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>接合部分にコッター式継手を使うことで、鉄筋工・型枠工・コンクリート工を行う工法に比べ、工程が天候に左右されることなく短縮可能で、従来のプレキャスト床版工法に比べて床版設置時間を約3割短縮することが可能です。          効果耐用年数100年に相当する輪荷重走行疲労試験で、標準工法（ループ継手）と同様の耐久性を確保しました。          コンクリートカッターで目地部を切断することで、取替が可能です。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>「コッター床版」は、全面取り替えに加えて、将来的に同床版の部分取り替えにも適用可能です。接合部のH型金物を切断しても、まわりの床版の強度に影響しないため、損傷した箇所の床版を撤去し、迅速に再び必要とされる機能を復旧することが容易であり、供用後のメンテナンス性や災害時の早期復旧等においても優れています。</p> <p>5. 活用実績</p> <p>国の機関 0 件（九州 0件、九州以外 0件）          自治体 0 件（九州 0件、九州以外 0件）          民間 0 件（九州 0件、九州以外 0件）</p>		

6. 写真・図・表

